

環境と健康

平成24年度 地球温暖化対策地域協議会活動支援事業

各地でユニークな取り組みを実践

脱温暖化のまちづくりを目指して

脱温暖化センターひろしまでは、地球温暖化対策地域協議会(以下、TEAM)の組織強化や地球温暖化防止活動推進員の力量形成を図りながら、県民と一緒に脱温暖化のまちづくりを推進するため、各TEAMに六万円を上限とする助成を行う。

募集の結果、十九TEAMから応募があり、全てが採択された。その中からいくつかを紹介する。

◆自転車都市づくりを考える市民フォーラム(広島市)

地球温暖化対策地域協議会(以下、TEAM)は、温室効果ガス排出量の約四割を占める車。車から自転車への転換を促進し、「自

転車都市」の実現を目指すためフォーラムを開催。市民にライフスタイルの見直しを提案するとともに、自転車都市の実現に向けた具体的なアイデア出しを行う。

◆竹炭・竹酢液活用研究会「エコINNくろせ」

地元で問題となっている放置竹藪の竹を使って竹炭や竹酢液を作り、有効な活用法を研究する。具体的には、河川の浄化に活用し、ホテルの舞う里山づくりやメダカの棲める小川の再生を目指すほか、稲・野菜・花木の防虫防除にも役立てる。また、これらを地域住民と協働実施すること、低炭素なまちづくりを考へていく。

◆緑のカーテンづくり事業

四年目「かいた緑のネットワーク」

平成二十一年度から緑のカーテン普及



7月8日に実施された自転車都市を目指すフォーラム

啓発活動を開始し、今年で四年目を迎える栽培講習会や緑のカーテンマップの作成・配布、小学校への環境出前講座などを通じて、緑のカーテンの効果や温暖化の現状について、一歩一歩、見える化を進め脱温暖化活動への意識づけを促進し、低炭素社会づくり実現を目指す。

現在、各TEAMがそれぞれの地域特色を生かしたユニークな活動を実践中である。今回応募のあった事業は、十一月二十三日に開催される「二〇一二年温暖化ストップフェア」で発表し、県民に広く周知する予定だ。

(脱温暖化センターひろしま)

● 助成金申請TEAMと活動内容 ●

1 府中町脱温暖化市民協議会	緑のカフェコンテスト、小学校見える化プロジェクト事業、エコネット事業
2 広島市地球温暖化対策地域協議会	自転車都市づくりを考える市民フォーラム
3 くれ環境市民の会	自販機市販飲料から考えるエコ
4 脱温暖化めまぐらフォーラム	「もったいない」を合言葉にCO2削減に挑戦!
5 脱温暖化ネットおんど	清盛清掃隊 空き缶リサイクル事業
6 大崎上島けんこう文化の島づくり協議会	アイドリグストップ!キャンペーン
7 地球温暖化対策はつがいちさくら協議会	海・山・島をめぐるエコcaféキャラバン2012
8 エコINNくろせ	竹炭・竹酢液活用研究会
9 布野の食と脱温暖化を考える会	緑のカーテン事業
10 ひがしひろしま環境家族	太陽エネルギーを活用しよう!
11 脱温暖化プロジェクトせら	せらの七種物語
12 くい環境会議	エネと環境フェスタ in久井
13 海田町地球温暖化対策地域協議会	緑のカーテンづくり事業4年目
14 脱温暖化・門田地域協議会	生活に役立つエコライフ講習会
15 栗原地区地球温暖化対策地域協議会	地域みんなで温暖化防止活動の推進事業
16 脱温暖化笑コきたひろ	集まれ!エコで団らんプロジェクト
17 エコネットたけはら	アイドリグストップ事業
18 かんきょう会議 浮城	美しいみどりを活かすまちづくりプロジェクト
19 しのうエコ推進会	脱温暖化の啓蒙とその実践

国土交通大臣賞に「くい環境会議」

久井で暮らせる喜び伝えたい

くい環境会議が、平成24年度まちづくり功労者国土交通大臣賞を受賞し、表彰された。

これは、魅力あるまちづくりの推進につとめ、著しい功績をあげた団体や個人に贈られるもので、29の団体・個人が表彰され、広島県からは同会議が選ばれた。



表彰状を持つのが小島代表

くい環境会議は、県内17番目の地球温暖化対策地域協議会として、平成20年11月に発足。久井の玄関口にあたる坂井原地区の御調川(みつぎがわ)付近は、長年、雑木や草木で見通しが悪く、不法投棄ごみも多量に堆積するなど問題となっていた。そこで、地元住民と連携し、年2~3回ごみの回収や雑木の伐採など、河川的环境整備活動に取り組んだところ、ごみは大幅に減り景観も美しく生まれ変わった。この生まれ変わった空間を『落合溪谷』と名付け、看板を設置した。引き続き、地域住民と連携しながら景観を守っていこうとしている。

また、平成21年には、久井地域に乱舞

していたホテルの復活を目指し、ホテルの生息地調査を実施。住民からもホテルの発生情報を集め、翌年には1枚のマップにまとめた。マップは、久井町の全戸及び学校に配布。また、ホテル祭りを2会場で開催し、住民に久井の貴重な自然を再発見してもらおうとともに、自然への関心を高めた。

さらには、絶滅のおそれのあるヒョウモンモドキの保護活動にも協力するなど、環境の大切さや久井の里山と生き物の魅力を訴え、住民の関心を得たことが総合的に評価され、今回の受賞につながった。

同会議のメンバーには、7月8日に実施した「夏のエコライフ研修会」の場で受賞の報告がなされ、小島代表は、「これからヒョウモンモドキの保護など、里山保全活動を通じて、豊かな自然が残る久井町で暮らせる幸せを、子どもたちに伝えていきたい。」と意気込みを語った。

地域住民との連携を大切に、さらなる活躍に期待したい。

(脱温暖化センターひろしま)

環境を測るとは

環境を測ることは案外むずかしい。土はどこにでもある。遊園地、公園、農地、山林など、どこをどう探ればよいのか。それなりのマニュアルもあるが、一応の訓練のない人にはやはりむずかしい。日本の国土の三分の二は森林である。当然、放射性物質も三分の二は森林に落下する。まずは葉面に付着する。季節が来れば、落葉枝として地上に落下し、一緒に放射性物質も地上に落下する。落葉枝は、物理的、化学的及び生物学的に分解されて土となる。土になった物質は、再び地表に近い樹木の根系から樹木に吸収される。つまり、森林はゆるい閉鎖系で絶えず循環している。だから森林は農地と違い、施肥はしない。森林に降下し

なぜなら森林を伐採し、表土を除き、裸地にするほかにないし、それでも裸土壌に放射能が残らないという保証はない。今後、長年月、こうした森林の放射能汚染と付き合わねばならない。そのためには、放射能汚染の状況を知りたい。さてどう測るか。

(愛媛大学・高知大学名誉教授 立川 涼)

環境と保健の未来をめざして

財団法人 広島県環境保健協会

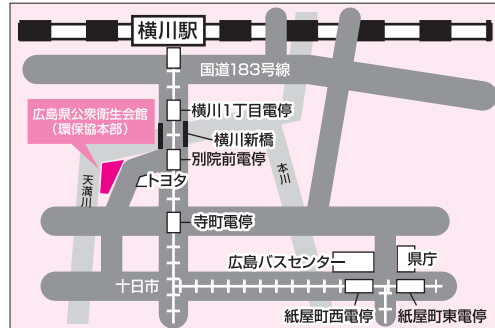
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号 (広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表]

FAX:082(293)1520

かんぽきょう

検索





平成二十四年七月十二日、十三日に第五十一回環境保健夏季大学（合同研修）が開催され、県内各地から約百八十

第51回環境保健夏季大学

ポスターセッションで実践活動報告

質問票を活用して相互に意見交換

名がグリーンピアせとうち（呉市）に参集した。

環境保健夏季大学は、市町公衛協の役員、事務局担当者を主対象とした一泊二日の宿泊研修で、体験交流を通して今後の活動の活性化などをねらいに毎年開催している。

今回は、初日に「全員参加の活動紹介＆ポスターセッション」と題して各公衛協の実践活動を報告し合い、意見を交換した。夜の自由集会では、当協会の職員が担当分野の事業を紹介した。（三面参照）

二日目は、「全県共通事業重点メニューを知ろう・学ぼう・体験しよう」と題し、三つの分科会に分かれて、各事業の知識や実践ノウハウを共有した。また、昼休憩にはオプショナルメニューとして、

今年の大河ドラマ「平清盛」のロケ地となったことにちなみ、特設展示「清盛 海のみち展」と海賊船を見学した。

午後からは、シニア野菜ソムリエ・広島県健康大使の花井綾美氏から「バランスよい野菜生活がつくる豊かな人生」と題した講演をいただき、野菜を中心とする食生活の効能

第51回環境保健夏季大学講演要旨



要性、旬の野菜で感じる季節感や和食の良さなど、野菜生活の多面的な効能が紹介された。

「バランスよい野菜生活がつくる豊かな人生」

シニア野菜ソムリエ・広島県健康大使

花井 綾美 氏

ファイトケミカルは、野菜や果物に含まれる色や香り、苦味などの成分で、紫外線から身を守り、害虫に食べられないように自己防御の

という紫の色素、トマトのリコピン、カボチャのカロテン、トウモロコシのルテインなどである。これらの成分が、体の中で、痛んだ細胞の修

復を助けてくれる。講師が、「ストレス社会で生きる私たちは、体調を整えるために、どんな野菜を摂取してバランスを保た

上がった。会場から、「糖尿病に良い食事とは？」「三十品目食べられる食事とは？」といった質問があり、講師からは「野菜を煮込めばたくさん食べられる」「野菜から食べ始めて、最後にご飯を食べるのが良い」「和食は多くの食材を食べるので、バランスの良い食事になる」「素材の味や自然の美味しさを、次世代に伝え教えることが重要」などの話があった。

最後に、「食卓は笑顔で！（ぐちゃらない、怒らない、ほめる）」「楽しい食事をゆつくりと！」「呼びかけ、笑顔で終了」となった。（地域活動支援センター）

について学んだ。（講演要旨参照）

そして、昨年に続き重点メニューの一つである「一万人の食チェック事業」のおたのしみ抽選会を行った。始めに、実践率の高かった三団体を表彰し、次いで用意した七種類・三十セットの景品が抽選で当たった公衛協に手渡された。（三面参照）

閉講式では、参加者を代表して福山市の瀬尾敏治さんに修了証が授与され、全日程を終了した。



各公衛協の「みどころ」と紹介（上）。ポスターセッションを見て回る参加者（下）

1万人のエコチェック事業

地球温暖化防止活動推進員である青山範子氏が、「取り組んでみたらくなる？！省エネテクニク」と題して、朝のテレビをラジオに換えたり、シートベルトをした後にエンジンをかけるなど、ちょっとした省エネのノウハウを披露した。その後、各自が取り組んでいる省エネ術や、実践率



当協会の省エネ関連の貸出グッズも紹介

広島県・瀬戸内海美化大作戦 参加公衛協がどのような「美化・水質・里山」の活動を実施しており、どんな課題や売りを持っているかをシートに



分科会

知識や情報を知り、今後の活動を考える

分科会

めくった。

公衛協発ウオーキング事業

あいにくの雨模様の中、「環境協発ウオーキング事業」を実施。今回は、「自然のもの」と「人工物」の二つのテーマを設定し、それぞれ設けた九つのキーワードを見つけてチェックする、というビンゴゲームの要領で体験した。自然のものでは「鳥の鳴き声」「いい香り」「ザラザラする葉っぱ」など、一方、人工物は「ごみ箱」「白と黒のもの」「つるつるしたもの」などを、グループで協力し、歩きながら見つけた。

（地域活動支援センター）



手で触れて、キーワードに沿った葉っぱを探る参加者

地区衛生組織活動資金募集（健康感謝募金）にご理解・ご協力をお願いします！

～ 健康感謝募金とは ～

昭和35年2月、広島市で開催された広島県公衆衛生大会「健やかな暮らしをつくる人々の集い」において、世界保健デーの4月7日を『健康感謝の日』と決めました。それ以来、4月7日を中心に、健康で暮らせることに感謝し、地域社会の人々の健康増進をはかる地域ぐるみの活動を実施しようと毎年募金活動を実施しております。集められた募金は、募金委員会が定めた要綱・使途遵則により、各市町の公衛協や環境協に配分され、地域の公衆衛生活動のために使われます。

今年度
第53回目

集められた募金の使われ方

- ごみの減量化と分別の徹底・リサイクル活動の推進
- 道路、河川など生活空間の美化活動
- 脱温暖化に向けたライフスタイルの推進
- 次世代を担う子どもたちのための環境学習
- 健康づくりのための教室や大会の実施など・・・



自由集会 専門家による環保協事業の紹介

「水」「メタボ」「輸入食品」のあれこれ

日常生活で気になるテーマの集会

実施。常温の水と冷水が用意されており、参加者のほとんどは、「冷やした水の方がおいしい」と回答した。同じミネラルウォーターでも、冷やせばおいしい水になることを体感した。

また、講座の中では、家庭でおいしい水のつくり方を紹介。ふたをせず十～二十分煮沸させる煮沸法、一日程度放置する汲み置き法、ミネラルに水を入れ、ふたをとって五分程度攪拌するばっき法などを紹介し、参加者の関心を集めた。

輸入食品検査について、食の安全を守るために、環境生活センター分析三課

夏季大学一日目の夜、自由集会では「専門家による環保協事業の紹介」と題して、日常生活で気になる「おいしい水」や「メタボ対策」、「輸入食品」について当協会職員が紹介した。身近な話題でもあり、活発な質問を交えながらの自由集会となった。

おいしい水ってどんな水
環境生活センター分析三課

県内の水道普及率や安全を保つ仕組みについて解説し、おいしい水ってどんな水?と題して、水の飲み比べを



水の飲み比べをする参加者



写真を使い、検体のサンプリングや分析の様子を紹介

日本の食料自給率が低迷している今日、輸入に頼らざるを得ない日本の食糧事情を概説した後、安全安心を確保する輸入食品の検査について紹介。輸入食品のサンプリングは、採取しやすい手前だけでなく、積み上げられた奥から抜きとる技術や、子どもが口にするおもちゃも食品としての検査対象になるなど、現場写真を

万人の食チェック事業 お楽しみ抽選会

自身の「食」傾向を知る食品数チェック

六月十九日の食育の日を皮切りに、一週間、県内の公衆衛生推進委員が「万人の食チェック事業」に取り組んだ。ここでは、強化期間中の実践結果の報告、夏季大学で行われたおたのしみ抽選会の様子をお伝えする。

毎日の食事は、少なすぎると栄養が不足し、反対に食べ過ぎるとメタボリックシンドロームや肥満を引き起こす原因にもなる。誰もに関わる「食」について、



食品サンプルで適正な食量を確認

健康クリニック健康増進課

「無理なくチャレンジ脱メタボ」と題し、特定保健指導について紹介した。話題のメタボの診断基準や保健指導の種類・内容などを説明し、健康リスクについて学んだ。関心が集まったのは、「なぜ内臓脂肪がたまるか?」で、原因は食べ過ぎと運動不足。職員は、カロリーの摂取と消費のバランスが乱れている点を強調し、食品サンプルを使いながら、食事指導のポイントを説明。参加者からは、アルコールを飲む場合に気をつけることは?」「特定保健用食品のお茶は効果があるのか」などの質問があり、保健指導は大いに盛り上がった。

多数使って説明した。参加者からは、放射能の検査依頼や、輸入食品検査の違反率、TPP問題や消費期限と賞味期限の設定方法など、食品に関する幅広い素朴な質問が次々と出された。

特定保健指導「無理なくチャレンジ 脱メタボ」活動報告

自身の傾向を知ることを目的に食品数チェックの実施を呼びかけたところ、県内十九市町公衛協が参加した。強化期間後、各公衛協で記入したカードが回収され、夏季大学(七月十二・十三日)の会場であるグリーンピアせとうちにて集められた。集まったカードは二千百十八枚。全県の推進委員九千二百六十八人に対して実践率は二十二・八%であった。



景品は食に関するグッズなど

「食品数を多く取るために工夫したメニューは何ですか」という設問があり、実践者からはさまざまな工夫が報告された。最も多かったものが、味噌汁やスープといったメニューで、野菜をふんだんに入れて工夫しているという声があつた。他にも、サラダや煮物などが挙げられた。多くの記述から、公衆衛生推進委員の健康意識の高さがうかがえた。

夏季大学二日目の「おたのしみ抽選会」では、こうした努力を称え、また今後の励みとするために、健康づくりに寄与するものや、公衛協等による手作りグッズなど合計三十品を景品として用意した。また、実践率が高かった市町ベスト3の結果は下表を参照)と特別賞を発表し、成果を称えた。引かれたカードが読み上げられるごとに、参加者は一喜一憂した。

この事業は、食生活見直しのきっかけにすぎない。ぜひ、毎月十九日は食品数の定例チェックに取り組み、自分にあつた健康的な食習慣の確立につなげていただきたい。

(地域活動支援センター)

公衛協別食チェック事業実践率ベスト3

順位	公衛協名	実践率
1	竹原市公衆衛生推進協議会	73.56%
2	福山市公衆衛生推進協議会	58.60%
3	大崎上島町公衆衛生推進協議会	55.77%
特別賞	三次市三良坂地区公衆衛生推進協議会	100.00%

公衛協

ア・ラ・モーネ

⑤ 呉市倉橋地区公衛協
【地域団結の海岸清掃】

6月1日、呉市倉橋町の桂浜海岸で、倉橋地区公衛協をはじめ、倉橋の海とくらしを守る会、小学校、中学校、地元住民、行政、海上自衛隊輸送艦「ゆら」の乗組員などが協力して海岸の一斉清掃を実施した。このような多様な主体での一斉清掃は今年で2年目となる。

万葉集にも詠われた桂浜は「日本の白砂青松100選」「日本の渚・百選」に選ばれており、古来より倉橋地区の歴史や文化を物語る松原であると同時に、観光拠点でもある。

これまでは各団体がそれぞれ海岸の清掃を行っていたが、平成23年、海上自衛隊の声かけがきっかけとなり、さまざまな団体が合同で実施する海岸清掃が企画された。

当日は約200人が集まり、およそ40分の清掃作業に汗を流した。分別は、燃えるごみ、ビン、カン、かき養殖パイプの4分別。約850kgのごみが集まった。

倉橋の清掃活動の大きなポイントは、地元水産業者が活動に参画しており、かき養殖で流出して



地域みんなで守る桂浜海岸。右上は自衛隊の輸送艦

しまうパイプを引き取ってくれる点だ。地域がひとつになって、桂浜を守っていくという強い思いを感じる取り組みである。

閉会式では、倉橋小学校児童代表が「観光に来る方が桂浜を楽しんでくれるようになったと思う。私たちが住んでいるこの地元の海岸をいつまでもきれいに保っていきましょう。」とまとめた。

閉会式後、輸送艦「ゆら」の甲板で自衛隊員

からぜんざいが振舞われ、清掃参加者はきれいになった桂浜の景色とぜんざいの味を堪能した。

「公衛協や倉橋の海とくらしを守る会では、これまでのような定期的な清掃活動も継続していく」と公衛協会長の森本勝利さん。キャンペーンや定期清掃を通じて、遊びに来る人たちに「きれいな浜だ」「また遊びに来たい」と思ってもらいたいという思いを持っていただけるよう、活動を続けていきたいと思いを語られた。

(地域活動支援センター)

夏のレジャー客 受け入れ準備

白砂青松を守るキャンペーン



地域みんなで守る桂浜海岸。右上は自衛隊の輸送艦

平成24年度 専門研修 広報・ツールづくりコース

公衛協活動をPRしていくツールづくりのノウハウを体験を通して学ぶことで、広報担当リーダーの養成を行い、公衛協活動の活性化を目指します。 *詳細については、お問い合わせ下さい。

対象者：市町公衛協及び地区・支部公衛協の事務担当者、広報担当者、その他必要と認められる関係者

定員：東広島会場30人 福山会場40人

参加費：無料(会場までの交通費は自己負担)

時間：10:00~16:00

日付/会場：右表のとおり

東広島会場 平成24年9月27日(木)
株式会社 広島テクノプラザ 第1研修室
(東広島市鏡山3-13-26 電話:082-420-0500)

福山会場 平成24年9月28日(木)
財団法人広島県環境保健協会 東部支所 3階会議室
(福山市山手町5-32-26 電話:084-952-0007)



この時期、各地のキャンプ場は子どもたちの歓声に包ま

環境を考える子どもを育成 クラフトやイカダ作りを体験

七塚四季の環境学習



③夏のキャンププログラム

れています。教育目的の学校キャンプ、レジャー目的の家族キャンプ、どのキャンプも安全でちよっぴり収穫のある楽しいキャンプであってほしいと思います。

今回は、高原の家七塚で長年やっています六泊七日の自然体験キャンプについて、ねらいとプログラムを紹介します。小学校三年生～六年生の任意の集団のキャンプです。

キャンプのねらい

①コミュニケーション力をつける②自分たちで活動し、お客さんにならないキャンプを実践する③自然に触れ自然に学び環境について考えられる子どもの育成を目指しています。

プログラムの紹介

①キャンプクラフト

孟宗竹（もうそうちく）を使って生活に必要な、箸・コップ・スプーン・フォーク・シャモジなどを作成。

また、遊び道具では竹とんぼ・竹笛など。

②自然観察

植物・昆虫・動物の動き、相利共生の事実を見つける、生きもの・動物たちの不思議



子どもたちと手づくりイカダで池を往復（上）、竹を使って生活用品を製作（左下）、テント張り（右下）



① 夏バテ

太陽俳句会の主宰であり、当協会の評議員でもある務中昌巳氏の著書『俳句セラービ』の中から、健康を題材にしたものを十二回シリーズで掲載。俳句で元気に、をテーマに、人間同士の交流や健康増進にかかわる話を毎回紹介していきます。

夏の終り、ようやく涼しくなったころ、バツリと病床に伏す。これが「夏バテ」。早い人では夏の盛りにはやられる。「やれやれ、また夏バテか」と嘆いてみても、体のだ

発見。

登山

二〇〇〇ぶくらの山に登る。植物・生きものに触れながらゆつくり登り、昼食を山頂で食べてゆつくり下山する。

②キャンプファイヤー

自然資源を守り、森の生きものに迷惑をかけないという観点から、ランプによるキャンプファイヤーを実施する。エールマスター・キャンプレクリエーション係など全て子どもが主役で進行する。

③イカダ作り

四層の孟宗竹を十五本固定し、その上にコンパネ二枚を張ったイカダを作る。四人が乗って池を往復する。

その他「バード・ウォッチング」「野草料理コンテスト」「ロープワーク」「星の観察」など。

（NPO法人七塚原自然体験活動研究センター）

理事長 西村 清巳

暑くなる前に手を打て

ペースダウンが第一条件

を落とせ」の一言に尽きる。真夏日（最高気温が摂氏三〇度以上）の暑さの中で、普段のペースで仕事を続けようというのが大体ムリなのだ。体の機能は、だんだん低下してきているのだから、体調を整え、抵抗力を保たせる以外

抵抗力が水準に戻るだけではなく、いつもと違った適度の刺激がホルモンの分泌を整え、気分転換により神経も休まるからである。いったん夏バテになると、体の調子が戻るまで長い期間がかかり、下手をすると寝込むようになること

もその習いであろう。俳人もまた然り、無理のない避暑を兼ねた吟行が「夏バテに効く」とすれば願ってもないことだ。ペースを落とすのに最も手軽な方法は昼寝。だが、あまり長すぎると昼寝は逆効果で、せいぜい一時間が限度である。

暑に疲れたらや眼鏡を畳の上紙魚一匹泳ぎ疲れた大言海務中昌巳著『俳句セラービ』北漢社抜粋

体の調子を整えるもう一つの柱は「食事」、言うまでもなく栄養を片寄せないため、バランスのよい食事をするところが肝要だ。ある栄養士がこんな話をしてくれた。「朝起きた時、梅干かレモンを齧（か）じ、そしてご飯には卵をつけて、水の代わりに牛乳を飲む、胃腸の働きを良くするため、ビタミン剤よりも消化剤を飲む、安くつくし効果がある」。試してみるのも一興かと思うがどうだろう。

に手はない。つまり、ペースを落とすことだ。

を考えると、避暑は得策なのだ。

ところで、その避暑の過ごし方であるが、単に山や海でのんびりと過ごすのではなく、適度な運動と何か「創造的な活動」をすることが有効である。児童の林間学校での活動



③ 熱帯夜と冬日の経年変化

着目すると、1960年代には熱帯夜は10日前後でしたが、最近では30日前後になっていることが分かります。呉特別地域観測所は海の近くにあり、夏場でも比較的涼しい気候なのですが、50年前と比較して寝苦しい夜が

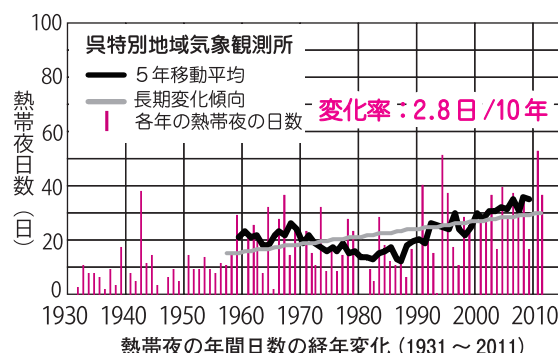
倍近くまで増加しているのです。一方、冬日は50年前には30日近かったものが、最近では数日にまで減少しています。筆者が小中学校生であった1970年代のときには、道路の窪みなどに張っていた氷をよく

寝苦しい夜は倍近く増加 厳しい朝の冷え込みは激減

最近、テレビのニュースで『寝苦しい夜続く！〇〇日間連続熱帯夜』とか、冬になると『今年も暖冬傾向。地球温暖化の影響か？』といった話題を目にすることも多くなりました。気象庁では「日最低気温が25℃以上の日」を「熱帯夜」、「日最低気温が0℃未満の日」を「冬日」として統計をとっています。今回は、この熱帯夜と冬日の経年変化に着目してお話します。

できれば前回と同様に広島地方気象台のデータを使って話を進めようと思ったのですが、広島地方気象台が1988年に江波南から中区八丁堀に移転しているため、連続的に長期的に見られる呉特別地域気象観測所のデータを用いて話をします。

下図は呉特別地域観測所の統計値の経年変化を見たもので、熱帯夜を表しています。グラフの長期的な変化傾向を示す灰色の直線に



けりながら登校したのですが、最近はそのような光景は見かけなくなりました。つまり、最近では冬季に厳しい朝の冷え込みの回数が減少してきたと言えます。このように気温データの長期的変化からだけでなく、統計的に処理したデータからも、現在進行中の地球温暖化の姿をみる事ができるのです。

また、気象庁では将来の気温をコンピュータを使って予想しており、現在の気候で「暖冬」とされる冬の平均気温を2℃前後も上回るような暖かい冬が、今世紀末の気候では毎年のように出現すると予想しています。

（広島地方気象台 観測予報課 岡崎 賢治）

人間ドックオプション検査

元気で長生きするための新しいドック（お申し込みはお早めに！）

アンチエイジングドック

フリーラジカル（活性酸素）をはじめ、血管年齢、ホルモン年齢、骨年齢、体力年齢、肺年齢、認知症の有無、腎能力を総合的に把握し、いつまでも若さを保つ、老化予防の知恵をアドバイス。

料金：52,500円

動脈硬化ドック

動脈硬化に焦点を当てた働き盛りの方へのオプション。感化ストレスのマーカー、動脈硬化のマーカー、MC-ファン、頸動脈エコー検査、脈波検査を実施。

料金：25,000円

更年期ドック

ホルモン検査による更年期の判定、および骨粗しょう症検査を行います。性ホルモン（FSH、エストラジール）超音波骨密度検査。

※対象：女性のみ
料金：7,500円



財団法人広島県環境保健協会
健康クリニック

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1
TEL 082-232-4857 FAX 082-293-2214

*その他、会員制PETドック、政管・健保ドック、特定健診を実施できます。詳細はお気軽にお問い合わせください。

水遊びをもっと楽しく 観察と工夫がポイント



手作り釣竿・
ハイキングのマナー

【手作り釣竿】

今年の夏もやっぱり暑い。省エネが叫ばれる昨今、涼と楽を感じる活動といえば「水遊び」でしょう。皆さん子どもの頃、麦わら帽子に短パン、手には網を持って川で水生生物を採集して遊んだのではないのでしょうか。中には、竹を編んだ筒でうなぎを捕っていたという強者もいらっしゃるはず。

川に入り、手網で魚を捕まえるのもいいですが、川のせせらぎを聞きながらゆっくり釣り糸を垂らし、目の前を泳ぐ魚を釣り上げるのもなかなか面白いもの。そこで今回は、手近にあるもので作成した釣竿で釣りを楽しむ方法を紹介しします。準備するものは、細長いもの、釣り糸、針、餌など。

細長い物とは、例えば新聞紙を丸めたものや、竹の先端部分、園芸に使う支柱など。どんな道具が使いやすいか試してみよう。市販の竿に比べ、当たりを感じるのには難しいですが、魚影を追いかけて目視で合わせます。針と糸は釣具屋で手に入ります。サヨリ針やタナゴ針など、小さな針を探してみよう。餌は、うどんやごはん粒、

釣り竿のつくり方

- ① 新聞をなるべく細くなるように丸め、竿を作る。
- ② 仕掛けを作り、竿にくくりつける。
- ③ 仕掛けの長さや針の大きさは狙う魚の大きさによって調整する。



新聞竿でのメダカ釣り



釣竿づくりの準備物(新聞紙、テープ、釣り針、釣り糸、おもり(ガン玉))。上、針をくっつけたらガン玉をつける(下)。

【ハイキングのマナー】

わが町の環境点検や史跡探訪、写真コンテストなどさまざまなハイキングイベントが展開されています。ハイキングを楽しむ場所は公共の場。みんなが楽しむための準備物や、守らなければならないマナーがあります。

今回はトラブルを避け、安全にイベントを運営するポイントをいくつか紹介します。自然への配慮…登山道を外れない、トイレの方法を考へる。特に子どもが複数いる場合には、集合・解散・昼食場所はトイレのある場所を設

適切な準備で自然を楽しむ 年長者の経験を次世代へ



番号確認



一列で歩く

定する配慮が必要です。他のハイカーへの配慮…静かに歩く、道いっぱいに広がらない、基本は上りが優先。他のハイカーとすれ違う際には、足場に注意して譲り合ひましょう。

ハイキングの服装…ハイキングの服装の基本は「重ね着」。高度が上がるにつれて、六度気温が下がり、風速一桁ごとに体感温度は一度下がります。脱いだり着たり、こまめな体温調節ができるように準備しましょう。靴は、くるぶしまで覆うハイカットタイ

キングの服装の基本は「重ね着」。高度が上がるにつれて、六度気温が下がり、風速一桁ごとに体感温度は一度下がります。脱いだり着たり、こまめな体温調節ができるように準備しましょう。靴は、くるぶしまで覆うハイカットタイ

プを履くと、捻挫などけがの予防になります。スタッフの配置…行動中は先頭と最後尾に必ずスタッフを配置します。声をかけながらペースコントロールをしましょう。子どもが多数いる場合は班をつくり、各班に大人

が入ると安心です。定期的に点呼をして、人数や体調の確認をしましょう。必ずしておきたい事前準備…適切な保険に加入する。計画書は警察に届け出る。計画書には、代表者の緊急連絡先、イベントの目的、コースやスケジュール、参加者の連絡先などを記載し、管轄の警察署に提出します。自然遊びは、予想される事故などに備えることが大切。危ないから実施しない、遊ばせないではなく、何がどのように危ないからどうやって気をつけるかを考え、自然の楽しさや役割を経験のある年長者から次世代へ伝えていきたいと思ひます。

(地域活動支援センター 馬場田 真一)

当協会では、地域で行われるイベントや学習会などで活用いただけるよう、さまざまなグッズを貸し出しています。シリーズ2回目は、人気グッズベスト3の発表と、活用事例の紹介です。

環境と健康の学習ルーム 貸し出し グッズ紹介

② 人気ベスト3

最も人気のあるグッズは「脱温暖化推進キット」です。LED・蛍光灯・白熱電球の消費電力や明るさの違いを体験できる「調光器付きくらべる君」や「LED・蛍光灯・白熱球エネルギー比較実験器」、自転車をこいで電気を作り、家電を作動できる「エネトレ」、脱温暖化活動をPRできる「はてん」「のぼり」が特に人気です。

続いて、人気グッズ第2位は「ごみ箱」。ごみの分別指導に活用できる「ごみ箱」や、ごみの排出抑制をPRできる「はてん」「のぼり」が人気です。

そして、第3位は「リサイクルキット」。いろいろなふろしきの包み方を紹介したパネルや、ごみの分別について楽しく考える「ごみの分別エコマークカード」などが人気です。



「ごみの分別エコマークカード」を使ったカリもの競争

それでは、いくつか活用事例を紹介します。

～活用事例～

◆脱温暖化推進キット

坂町公衆衛生推進協議会では、町内の小学4～6年生を対象としたECOキッズ講座で、「調光器付きくらべる君」「エネトレ」を活用。家電の消費電力の違いや、自ら自転車をこいで作った電気でも

れだけ家電が作動できるかを体験し、電気の大切さと家庭でできる取り組みを学んでもらった。

◆リサイクルキット

福山市神辺学区公衆衛生推進委員会では、学区の運動会で「ごみの分別エコマークカード」を活用。箱の中からカードを1枚引き、カードと同じリサイクルマークが描かれた物を持って来る競技を実施。参加者のリサイクルへの意識を高めるのに役立った。

◇ 次回は、10月の「3R推進月間」にお勧めのグッズを紹介します。

(地域活動支援センター)

職場環境は快適ですか？

作業環境測定業務【ホルムアルデヒド編】

特定化学物質障害予防規則が改正され、平成21年3月から医療機関などで使用されているホルムアルデヒド（ホルマリン）について、作業環境測定を行う必要があります。当会は、広島県の登録機関として作業環境測定を行っております。お気軽にお問い合わせください。

○問合せ先 ○ 〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1
(財) 広島県環境保健協会 環境生活センター 環境調査課
TEL: 082 (293) 1511 (大代表) FAX: 082 (293) 5049 URL: <http://www.kanhokyo.or.jp/>



浄水処理各工程で水質検査を実施 「安心安全な水」の供給に貢献

水道水が
できるまで

② 急速ろ過方式

が含まれています。原水を安心して飲める安全な水にする所が浄水場です。今回から三回にわたり、浄水処理方法についてお話しします。

水の浄水処理方法には、急速ろ過方式と緩速ろ過方式があります。近年では、これらに加え、膜ろ過方式など新しい浄水処理の導入が進んでいます。

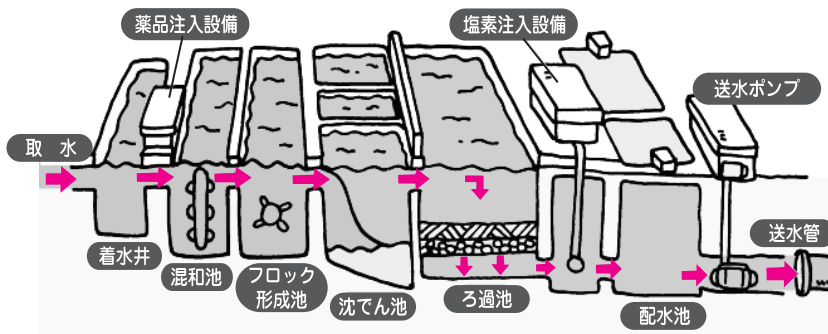
今回は、急速ろ過方式についてお話しします。

急速ろ過方式は、原水の濁りが多い場合でも比較的对応可能で、少ない敷地面積で多量の水を、短時間で効率的に浄水処理ができる方法です。そのため、大規模な浄水場を中心に広く普及しており、わが国の約七十四%の浄水は、この方式で作られています。

急速ろ過方式では、まず取水口から取り入れられた原水の土砂や細かいなごみ等を、沈めて取り除きます。続いて、凝集剤などの薬品を注入し、細かい粒子を塊にし（凝集）、可能な限り沈殿させます。その上澄み水を、砂を敷き詰めたろ過層によつてろ過を行った後、塩素消毒を行います。

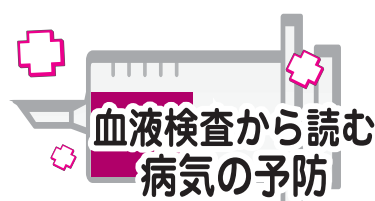
（下図参照）

このようにして、安全できれいになった水が配水管を通り、皆様の家庭に送られています。当協会では、これから浄水処理の各工程の水質検査を実施しており、浄水処理が確実に行われていることを確認し、「安心安全な水」の供給に貢献しています。



急速ろ過方式での浄水処理のしくみ

次回は、緩速ろ過方式についてお話しします。
（分析二課 服部 麗子）



③ コレステロール

血液検査の結果で、最も気になる項目の一つにコレステロールを挙げられる方も多いでしょう。今回は、そのコレステロールについて取り上げます。

コレステロールにもさまざまな種類がありますが、人間ドックの検査では、そのうちの二つを検査することが多いようです。一つがLDL（いわゆる悪玉コレステロール）

もう一つがHDL（いわゆる善玉コレステロール）です。さて、LDLとHDLは具体的にどんな働きをしているのでしょうか？LDLは過剰になると血管壁にたまり、動脈硬化の危険性が高まります。

そのため、LDLは低く保つことが必要です。一方、HDLは血中の過剰なコレステロールを回収しますが、高ければいいと言っただけではありません。HDLが高すぎる場合も動脈硬化を起こすことがある

DLコレステロール値を正常に保つことが欠かせないと分かりますが、ある調査では日本人成人の約三分の一は高脂血症という結果が出ています。日常生活で気をつけることは、正しい食生活と適度な運動

正しい食生活と適度な運動が重要

動脈硬化を予防しよう

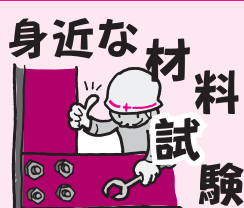


ので、注意が必要です。日本人の死因の第二位は心疾患、第三位は脳血管疾患。どちらの疾患も動脈硬化が大きな原因であると考えられます。このことから、健康的な生活を送るにはHDL・L

動です。食事は、動物性脂肪やコレステロールを多く含む食品は少なめにし、深夜の食事も避けてください。運動は一日三十分程度が目安ですが、個人差もあるので無理をしないよう心がけてください。地

道な努力を続け、正常なコレステロール値を目指しましょう。クリニックでは、頸動脈エコーによる血管壁をエコーでみる検査や、血管の硬さを調べる脈派検査、超音波コレステロールを調べる詳しい脂質検査なども行っていますので、ご相談ください。

（臨床検査課 松岡 朗子）



③ 鉄筋の役割

一般的なビルやマンションでは、直径2〜3センチ位の鉄筋が使用されていますが、橋脚などでは、人の手首位もある約5センチの鉄筋が使用されている所もあります。建物に使用される鉄

筋（直径約2センチ以上）は、つなぎ合わせで施工されるので、このつなぎ部分が悪いとヒビが入り、災害にあうと折れやすくなります。

そこで、鉄筋の検査では施工現場で切り取ったこの部分を、引張

引張力に強く耐震性能を補う つなぎ部の安全性を確認

ビルなどの建物は、地震や台風で前後左右に揺れると、圧縮力（押し力）と引っ張り力（引き力）という逆の力を同時に受け、崩壊が起こることがあります。災害に強い代表的な建物に鉄筋コンクリート造があり、コンクリートは圧縮力に強く、鉄筋は引っ張り力には強いことから、お互いの長所を生かして、災害に耐える構造となっています。

鉄筋コンクリートは、鉄筋とコンクリートそれぞれの役割が違

たため、工事が完了する前に、別々に試験をして品質を確認します。今回はコンクリートについて紹介しましたので、今回は、鉄筋についてお話しします。



鉄筋のつなぎ部（左）、つなぎ部が母材部と同等の性能を有しているかを試験する装置、約200トンの力で引っ張ることが可能（右）

り試験機を使って破断するまで引っ張り、規格どおりの強度があるかを判断するとともに、つなぎ合わせた部分がはずれないことを確認します。

当協会の材料試験室が保有している引張り試験機は、最大2000kN（約200トン）の力で引っ張ることができ、鉄筋がちぎれるまで行います。ちぎれる瞬間は大きな音と振動があり、特に5センチくらいの鉄筋を試験する場合、体感的に震度3くらいの揺れがおき、お客様がびっくりされることもあります。材料試験室では、鉄筋の試験においても正確で信頼性の高い試験・検査を実施し、建物等の安全性確保に貢献しています。

（材料試験室 中尾 喜之）

建設工事材料の各種試験を受付！

コンクリート試験、骨材試験、アスファルト試験など

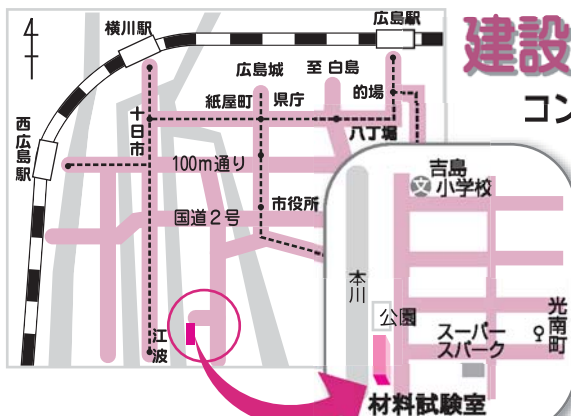
【受付時間】月曜日から金曜日 8:30~17:30

財団法人 広島県環境保健協会
吉島分室（材料試験室）

〒730-0825 広島市中区光南3丁目13番

TEL (082) 249-9535

FAX (082) 249-6473



せら脱温暖化フォーラム

「笑い」で招くエコへの関心

とんちの利いた大喜利 好評



世羅町長も参加して大喜利を披露。とんちを利かせた回答に会場から拍手が上がる

「第三回脱温暖化せらのまちづくりフォーラム」が、七月一日、甲山農村環境改善センターで開催され、町民約二百人が参集した。このフォーラムは、主催した脱温暖化プロジェクトせらが活動の実践状況を報告するとともに、温暖化防止に向けた町民の意識向上を目指して開催された。今回は、堅苦しい勉強会ではなく、関心を持って参加してもらうことを重視して「笑い」をテーマに、三部構成で行った。

第一部の講演には、吉本興業所属の落語家、環境省委嘱の3R推進マイスターでもある桂文喬（かつらぶんきょう）氏を招いた。プロならではのユーモアを交えたトークで会場の笑いを誘いながら、環境を守るためのコツや脳を活性化させるポイントなどが紹介された。

第二部の「七つのプロジェクト」では、今回のイベントを皮切

り、十月までの四カ月、続けてイベントを予定している。それらを「四つ合わせて」あわせ「イベント」として町民へ参加を呼びかけることで、より一層参加者の輪の広がりを目指す。



環境活動について説明しながらユーモアを交えて会場を沸かせる桂文喬氏

みんなの助っ人！
環境
カウンセラー

なかむら しいたか
70 中村 成孝

【登録年度】平成23年度・市民部門
【専門分野】森林環境学習、森林による環境保全、林業による環境保全
【活動エリア】広島県内全域

ア休暇を利用してロンドン郊外で森林保全活動を体験した際に共感した、楽しみながら自然に活動している姿勢です。

◆カウンセラーになったきっかけ
祖父の代から実家が林業を営んでおり、幼い時から自然に馴染んでいました。学生時代、校医でもあった先生から環境の大切さを学んだことが、環境に関心を持つきっかけでした。広島県地球温暖化防止活動推進員となって活動するうちに、情報紙「環境と健康」を知り、環境カウンセラーの記事を読んで興味を持ちました。

◆これから住民と一緒に取り組みたいこと
環境カウンセラーになった

楽しみながら森林学習

全国で講師を務める

◆これまでの活動について
「布野の食と脱温暖化を考える会」のメンバーとして、地元の小中学校での森林環境学習の講師をしています。学習内容は、環境保全に自覚を持ってもらえるよう、ノルウ

エーで生まれた「LEAFプロジェクト（Leafing About Forest）」を実際にノルウェーで体験して習得し、取り入れています。

今日の活動の基本となっているのは、会社のボランティア

営んでおり、幼い時から自然に馴染んでいました。学生時代、校医でもあった先生から環境の大切さを学んだことが、環境に関心を持つきっかけでした。広島県地球温暖化防止活動推進員となって活動する

ばかりなので、他のカウンセラーからさまざまな情報を得ながら、より多くの人に森林からの環境保全を発信していきたいと思っています。

◆ 昨年度は、広島県北のみな

内閣府支援事業「地域カーボン・カウンセラー養成講座」の講師を務めた中村さん。今後も、森林を中心とした環境保全活動に期待したい。

◆ 環境カウンセラーへの問い合わせは、環境カウンセラーひろしま事務局「広島連塾S u s ☆ プラス」(090-1403-5197) 担当大西



地元の小学校で森林環境学習を行う中村さん

TEAM

地域 エコ アクション ミーティング

最前線 2

①大崎上島けんこう文化の島づくり協議会

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会は、発足した平成17年からアイドリグストップ事業に継続して取り組んでいる。大崎上島町といえば、県内で唯一橋がかかっていない島。このため、フェリー乗り場が島の玄関口となっている。こうした島ならではの特性を活かしながら、脱温暖化の島づくりを目指す取り組みとしてスタートさせた。

8年目となる今年度は、7月1日から9月27日まで計14回、7時10分発から9時35分発のフェリーを待つ車を対象に、チラシを配りながらアイドリグストップへの協力と呼び掛け、アンケート調査を実施する。また、地元の商船高等専門学校や東野小学校に参加と呼び掛け、生徒にも体験してもらう予定だ。さらに、メディアを通じた活動のPRにも力を入れる。

第1回目の7月1日は、濃霧のため7時台のフェリーが欠航するハプニングがあったものの、商船高等専門学校の生徒4名と一緒に、約70台を対象に実施。アイドリグストップへの協力と呼び掛ける際のポイントは、「決して『エンジンを止めてください』とは言わず、『止めていただくよう、ご協力をお願いします』と笑顔で言うこと。また、頭を下げたり、笑顔を絶やさず呼び掛けると、自然と協力者も増える」と、同協議会の梅澤恵子会長は言う。アンケートでは、フェリーの利用頻度やアイドリグストップの実践状況を調査し、回答者には、お礼に協議会名入りのポケットティッシュを配った。

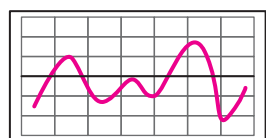
第2回目の7月9日には、東野小学校の6年生7人が挑戦。アンケート回答者には、アイドリグストップの効果を記した同協議会オリジナルのうちわを配布した。今後は、「エコネットたけはら」と合同で対岸でも実施するほか、メディアを通じた活動のPRやスーパーの駐車場で呼び掛け、11～3月の寒い時期にも同様の事業を実施する予定。脱温暖化の島づくりを目指したさらなる活動が楽しみだ。

(脱温暖化センターひろしま)

東野小学校と合同でアイドリグストップの呼び掛け

水質検査のご案内

井戸水・山水などを安心してお飲みになりたい方へ



検査

適合

不適合

相談

問題解決

再検査

検査項目・搬入方法等詳細についてはお気軽にお電話ください ☎ 082-293-0163

広島県では、一年に1回水質検査を行うことを推奨しています。

HIROSHIMA ENVIRONMENT & HEALTH ASSOCIATION
広島県環境保健協会
(水道法に基づく厚生労働大臣登録検査機関)
広島市中区広瀬北町9番1号



◆新エネルギー構造転換へ3選択肢

政府のエネルギー・環境会議は、東京電力福島第1原発事故を受け、原発依存度を減らし新たなエネルギー構造への転換を目指すための三つの選択肢をまとめた。2030年の総発電量に占める原発比率を0%、15%、

20～25%と設定、比率ごとに核燃料サイクルの進め方のほか、再生可能エネルギーの導入や温室効果ガス排出量の削減目標を示した。

野田首相は「三つの選択肢のどれを選んだとしても、日本の未来の基盤としていかなければならない」と述べた。国民的議論を経て、8月に今後のエネルギー・環境政策の方向を示す戦略を決定する。

選択肢によると、0%では使用済み核燃料を地中に捨てる「地中廃棄」を採用し、15%、20～25%では「再処理・地中廃棄があり得る」とした。

温室効果ガスの削減目標については30年時点で、原発0%と15%ではともに1990年比で23%減、20～25%では25%減とした。太陽光発電など再生可能エネルギーの比率を、原発0%では35%、15%では30%、20～25%で30～25%を目指すとした。

政府は7月上旬、三つの選択肢を分かりやすく説明するデータ集をホームページで公開。7月中旬から8月上旬にかけて全国11カ所で国民の意見を聴く会合を開催し、住民参加の討論型世論調査も実施する。

◆熱中症にご用心

厚労省は、熱中症対策について検討会を開き、日々の患者発生状況を場所や重症度とともに翌日にホームページで公表することを決めた。同省研究班が医療機関から情報収集した内容で、気象条件に応じて変わる患者の傾向を即時に示し、注意喚起を促すのが狙い。

研究班は今年度から、全国の救命救急センターなどに呼びかけ、熱中症患者の報告を求めている。年齢や性別、炎天下か屋内かといった場所、入院の有無、学会が定めた重症度などの情報を、当日にファクスで収集、分析する。

熱中症の発生状況は、総務省消防庁が救急搬送の情報をもとにした全国集計を、毎週発表している。これに対し研究班の情報収集は、試行段階で報告は任意だが、医療機関の診断結果を翌日には反映できる。

日本救急医学会の調査では、猛暑が続く8月よりも、体が暑さに慣れていない梅雨明け直後に、重症の熱中症患者が増える傾向にあることが報告されている。

情報は、厚労省サイトの「熱中症関連情報」に7月20日から8月15日まで掲載する予定。これらの事例をもとに熱中症対策に役立てて欲しい。

◆日本の労働力、2030年に950万人減 厚労省試算

厚労省は、少子高齢化への今後の政府の対策がうまくいかないと、2030年の労働力人口は10年の約6,630万人から約950万人減ると推計。働く女性が増えてきたことなどを受け、減少幅は前回07年の推計（30年に06年から約1,070万人減）よりも縮小した。

労働力人口は15歳以上で、働いているか、働く意思はあるが失業中の人の数を示す。国立社会保障・人口問題研究所が5年に1回見直している将来推計人口をもとに、失業率などを推計して厚労省の雇用政策研究会が試算した。推計人口は、今年1月に最新データが公表され、出生率が上方修正されている。

厚労省の推計では、労働力人口は、経済のゼロ成長が続き、若者の就労支援や高齢者の就業促進などの施策の効果がまったくない最悪のケースだと、20年は440万人減の6,190万人、30年は5,580万人になると見積もった。前回07年の推計では30年は約5,580万人と見ていた。

◆66%が食品安全に知識 原発事故で大幅増、政府食育白書

政府は、2011年度版の食育白書を決定した。昨年12月の内閣府調査に対し「食品の安全性に関する知識がある」と答えた人が66.0%に上り、東日本震災前に実施した10年度の同様の調査から28.6ポイント増えたと指摘。東京電力福島第1原発事故の影響による「食の安全」への関心の高まりもうかがえる。

震災前の調査は、食品安全委員会が同じ質問で過去に6回実施。単純に比較できないが、今回の内閣府調査の結果は、06年度の66.4%に次ぐ高さだった。特に今回は「知識が十分にある」とした人が13.8%と最多だった。

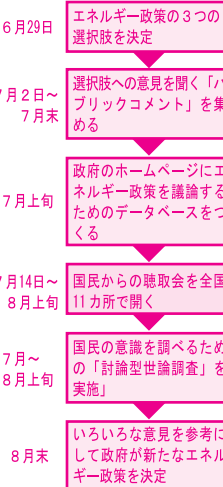
「今後身につけたい知識」を聞いた質問（複数回答可）には、「健康に配慮した料理の作り方」との返答が47.6%でトップ。これに「食中毒の予防」（36.3%）、「食品の保存方法」（34・8%）が続き、「食品中の放射能について」も32.3%に上った。調査対象は3,000人で回収率は62・2%だった。

白書は、食品安全の知識を持つ人が増加した原因を記述していない。しかしながら内閣府担当者は「原発事故を受けたメディア報道などで、食の安全に関する知識が広まったのが一因だ」と分析している。

このほか白書は、「夕食を家族とほとんど毎日一緒に食べる」とした人が71.6%と、10年調査から15.1ポイント増えた。食育に関心を持つ人は72.3%と前回（70.5%）並みだった。

（文責：地域活動支援センター）

2030年のエネルギー政策に向けた今年度のスケジュール



基礎研修のシナリオを考える参加者（上）、本番を想定して発表し、参加者が聴講（下）

テーマを刷新した「専門研修」の第一弾として、「基礎研修の開き方コース」を六月十四日・十五日の二日間で開催し、二市三町から十二名の公衛協関係者が参加した。

基礎研修は、市町公衛協が主催し、新規の推進委員や事務担当者に公衛協の基礎的な知識を習得してもらう場として年度当初に開催する。環境保協からは要望に応じて講師を派遣しているが、公衛協が独自に開催する場は、二〇一二年で今年度は、「二〇二二公衆衛生推進手帖」を活用し、公衛協が独自に開催するためにはどのような内容で研修を行えばよいのか、実践を交えながら学習し、各公衛協オリジナルの基礎研修の進め方シナリオを作成と実践演習

基礎研修開催ノウハウ学ぶ

シナリオを作成した。研修の前半では、公衛協に関する情報（組織、活動、健康感謝募金など）について学習し、研修後半では、他の参加者を研修参加者に見立てて実際にシナリオどおりに研修を行う、実践演習に取り組んだ。

参加者からは「内容を考えるということ、何がポイントかということを考えるのに役立つ」「実践することに意味があり、思っていることと実践することの違いを実感した」「本当に理解できていないと、なかなか思うように話ができない」「相手に伝える話し方の勉強が必要だ」などの声があり、現状の振り返りによりこれらの課題が明確になった。

専門研修は、七月に「企画づくりコース」、九月に「広報・ツールづくりコース」を開催する。研修の場では、他地域の取り組みを実践者から直接聞く機会にもなる。研修会に参加して、今後の公衛協活動のヒントやきっかけにしてほしい。

（地域活動支援センター）

第53回広島県公衆衛生大会

～健やかな暮らしをつくる人々の集い～

開催日時：平成24年11月1日（木）10：30～15：00

開催場所：福山ビッグローズ（広島県立ふくやま産業交流館）
福山市御幸町大字上岩成字正戸476-5

参加対象：公衆衛生推進委員（地区のボランティアリーダー）
各市町の環境保健行政関係職員 など



昨年度の大会プログラム、ポスター標語コンクールの表彰

2012 温暖化ストップフェア in ひろしま

開催日時：平成24年11月23日（金）10：00～16：00

※22日・23日（木・金）エコイノベーションメッセ同時開催

開催場所：広島産業会館（西展示館1F）第4展示場

※同会場第1～3展示場では企業の環境活動や環境配慮製品紹介も実施中

内容：県内で取り組まれている脱温暖化活動の紹介やグッズの情報 など
参加費：無料 みなさまお誘いあわせの上、ご来場ください

市町名	募金額（円）	達成率
呉市	8,206,199	147.6
府中市	1,328,450	124.5
海田町	1,700,000	287.8
熊野町	1,451,220	281.6
坂町	0	0.0
江田島市	0	0.0
竹原市	0	0.0
大崎上島町	0	0.0
大竹市	1,939,380	309.4
廿日市市	1,945,450	125.8
廿日市市佐伯	0	0.0
廿日市市吉和	0	0.0
廿日市市大野	0	0.0
廿日市市宮島	212,500	490.8
安芸太田町	0	0.0
北広島町	1,192,800	292.4
安芸高田市	0	0.0

市町名	募金額（円）	達成率
東広島市	0	0.0
三原市	1,195,040	55.6
世羅町	290,200	86.4
尾道市	0	0.0
福山市	0	0.0
府中市	0	0.0
神石高原町	0	0.0
三次市	1,413,133	119.4
庄原市	0	0.0
その他	65,923	
合計	20,940,295	58.5

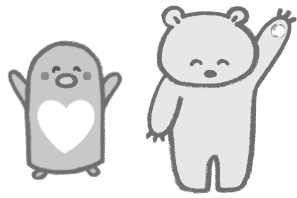
健康感謝募金

～地区衛生組織活動資金募集～

市町別一覧表

（平成24年7月末現在）

健康感謝募金
総額
20,940,295円

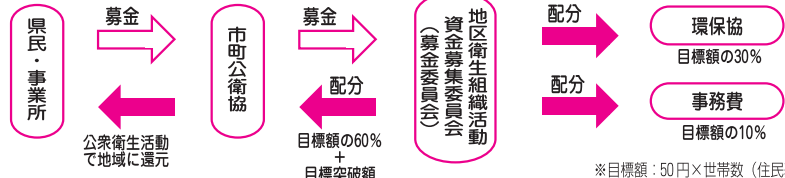


健康感謝募金は、昭和35年から実施し、平成24年度で53回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

【健康感謝募金Q＆A】

Q：健康感謝募金ってどのように集められ、管理されているの？

A：健康感謝募金は次のような手順で募金委員会に集められ、記録、配分を行い、公衛協活動に活用されています。



※目標額：50円×世帯数（住民基本台帳による）